

(8) 公共施設について

① 市内の公共施設の安心、快適な利用に対する満足感

問 10 北九州市では、道路や公園、建物（文化施設や市民センター等）などについて、安全でかつできるだけ長く使えるよう、効率的に維持や管理、補修などを行っています。そこで、おたずねします。

あなたは、道路、公園、建物などの公共施設について、安心して、快適に利用できると感じますか

N : 1,322 人

項目	回答数（人）	割合（％）
1 とても感じている	109	8.2
2 ある程度感じている	663	50.2
3 どちらとも言えない	254	19.2
4 あまり感じていない	207	15.7
5 ほとんど感じていない	30	2.3
無回答	59	4.5

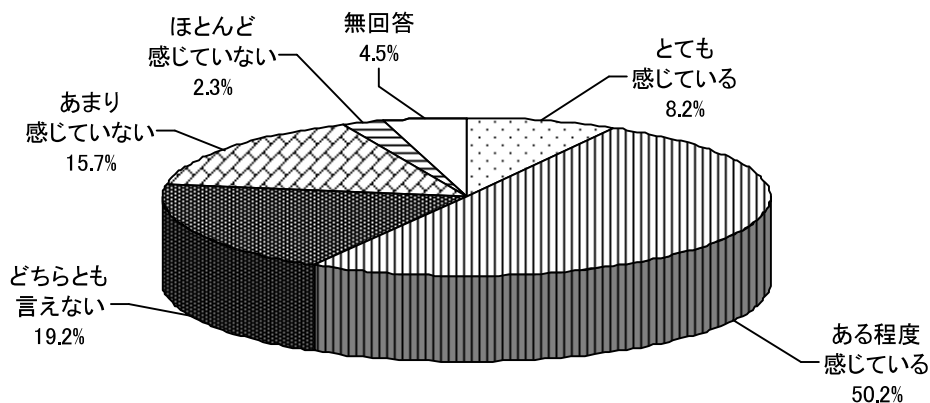
◇ 市内の公共施設の安心、快適な利用に対する市民の満足感は、

・ 肯定層 58.4%

（「とても感じている」8.2%＋「ある程度感じている」50.2%）

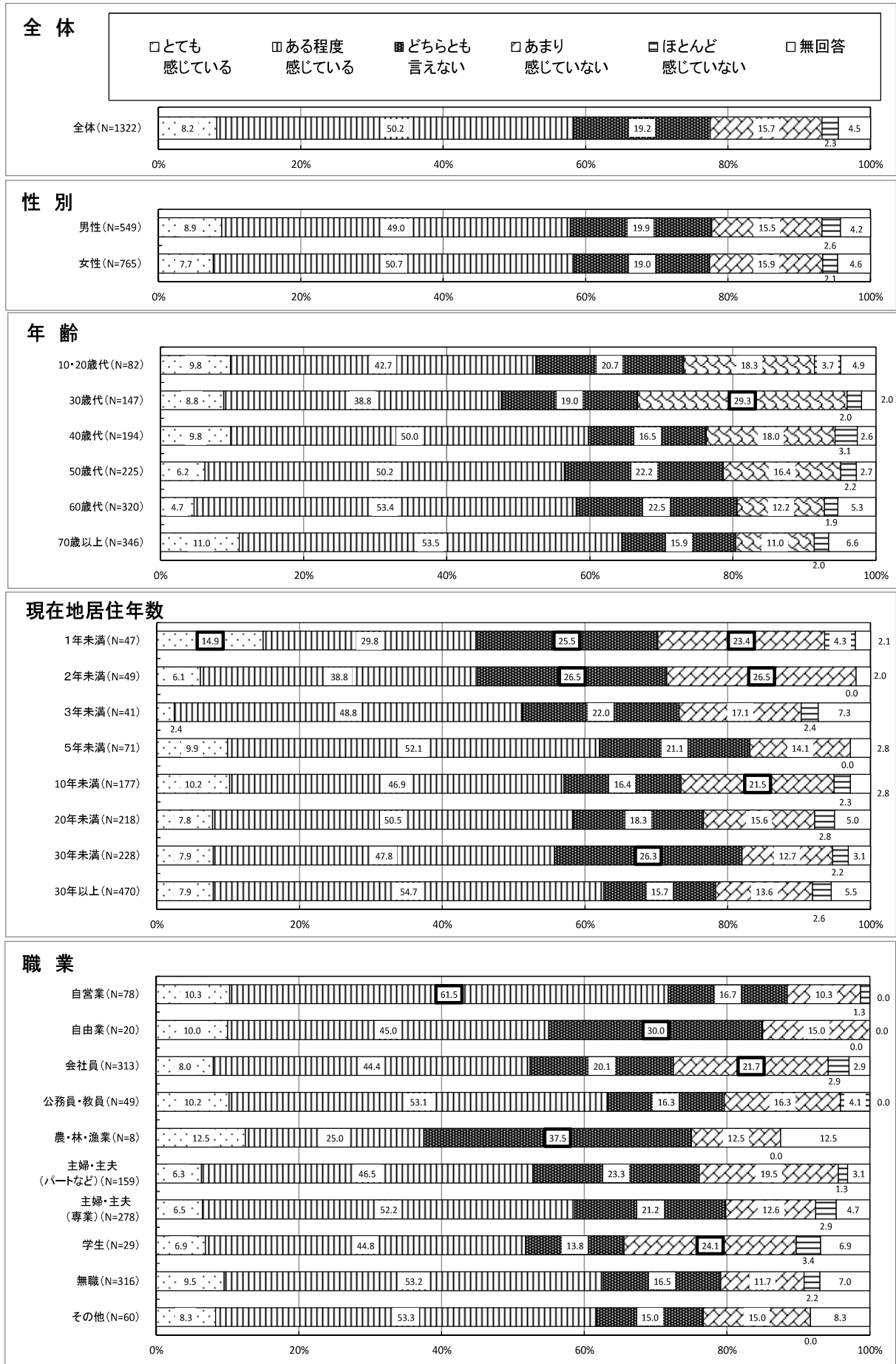
・ 否定層 18.0%

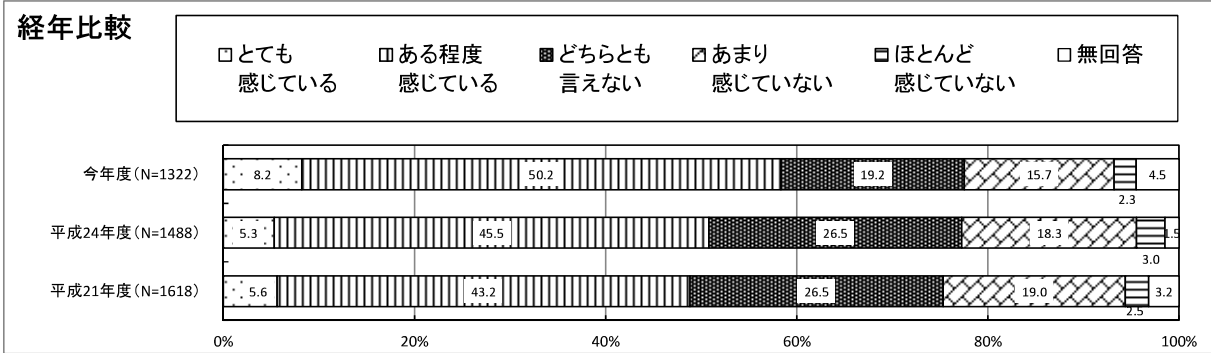
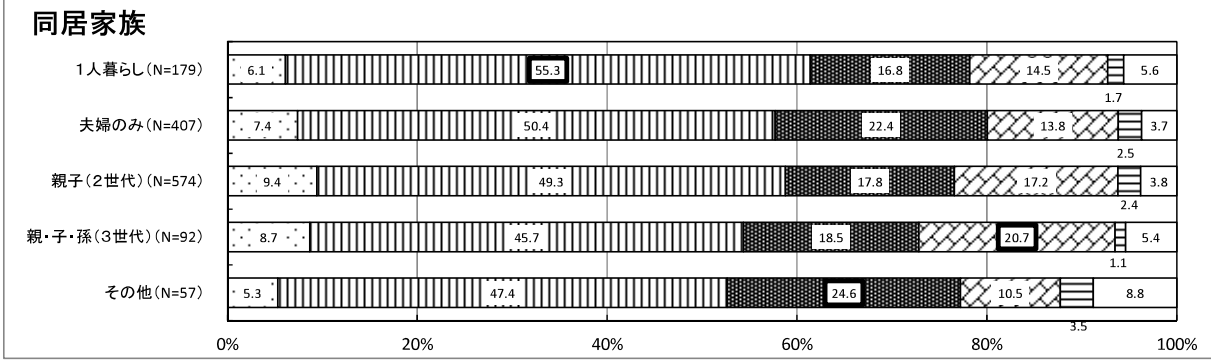
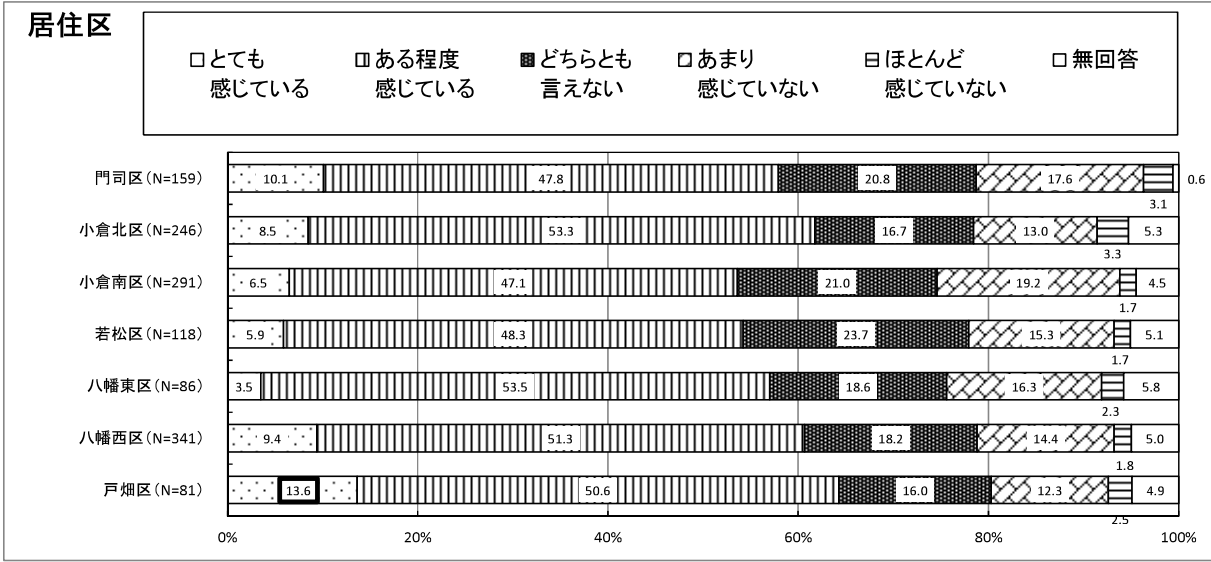
（「あまり感じていない」15.7%＋「ほとんど感じていない」2.3%）



とても感じている
 ある程度感じている
 どちらとも言えない
 あまり感じていない
 ほとんど感じていない
 無回答

① 市内の公共施設の安心、快適な利用に対する満足感





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

② 公共施設が、安心して、快適に利用できると感じられない理由

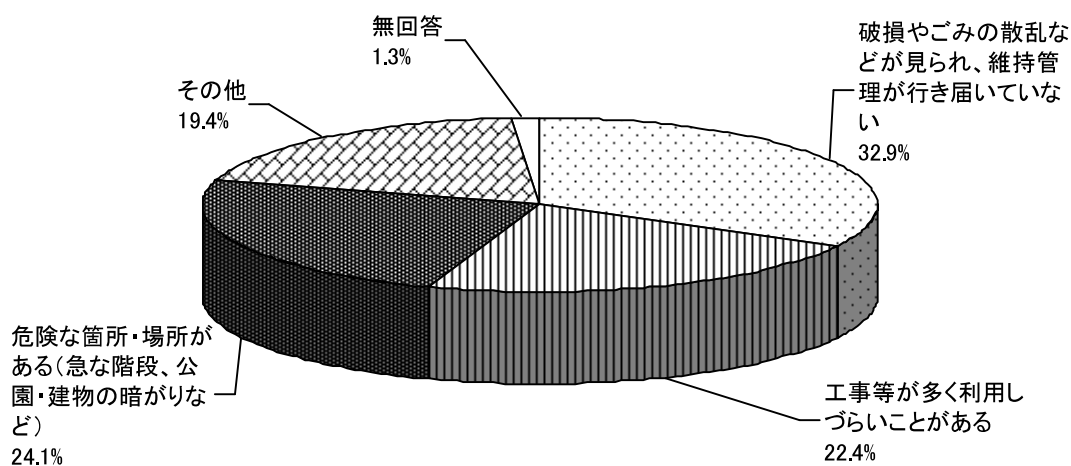
副問 10-1 (4もしくは5を選んだ)理由について、下記から主なものを1つまで選んで下さい。

N : 237人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 破損やごみの散乱などが見られ、維持管理が行き届いていない	78	32.9
2 工事等が多く利用しづらいことがある	53	22.4
3 危険な箇所・場所がある(急な階段、公園・建物の暗がりなど)	57	24.1
4 その他	46	19.4
無回答	3	1.3

◇ 公共施設が、安心して、快適に利用できると感じられない理由は、

- 1位 「破損やごみの散乱などが見られ、維持管理が行き届いていない」(32.9%)
- 2位 「危険な箇所・場所がある(急な階段、公園・建物の暗がりなど)」(24.1%)
- 3位 「工事等が多く利用しづらいことがある」(22.4%)



- 破損やごみの散乱などが見られ、維持管理が行き届いていない
- 工事等が多く利用しづらいことがある
- 危険な箇所・場所がある(急な階段、公園・建物の暗がりなど)
- その他
- 無回答

② 公共施設が、安心して、快適に利用できると感じられない理由

		サンプル数	破損やごみの散乱などが見られ、維持管理が行き届いていない	工事等が多く利用しづらいことがある	危険な箇所・暗がりなど（急な階段、公園・建物の暗がりなど）	その他	無回答
全体		237	32.9	22.4	24.1	19.4	1.3
性別	男性	99	38.4	21.2	22.2	17.2	1.0
	女性	138	29.0	23.2	25.4	21.0	1.4
年齢別	10・20歳代	18	16.7	27.8	27.8	22.2	5.6
	30歳代	46	17.4	34.8	32.6	13.0	2.2
	40歳代	41	39.0	24.4	14.6	22.0	0.0
	50歳代	42	38.1	16.7	26.2	19.0	0.0
	60歳代	45	35.6	15.6	31.1	17.8	0.0
	70歳以上	45	42.2	17.8	13.3	24.4	2.2
現在地居住年数別	1年未満	13	38.5	15.4	23.1	15.4	7.7
	2年未満	13	23.1	23.1	38.5	7.7	7.7
	3年未満	8	0.0	37.5	50.0	12.5	0.0
	5年未満	10	30.0	10.0	50.0	10.0	0.0
	10年未満	42	21.4	38.1	19.0	19.0	2.4
	20年未満	40	37.5	20.0	20.0	22.5	0.0
	30年未満	34	35.3	17.6	26.5	20.6	0.0
	30年以上	76	39.5	18.4	19.7	22.4	0.0
職業別	自営業	9	44.4	22.2	33.3	0.0	0.0
	自由業	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	会社員	77	26.0	23.4	31.2	18.2	1.3
	公務員・教員	10	30.0	40.0	10.0	20.0	0.0
	農・林・漁業	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	33	33.3	27.3	18.2	18.2	3.0
	主婦・主夫(専業)	43	20.9	20.9	30.2	27.9	0.0
	学生	8	25.0	12.5	37.5	25.0	0.0
	無職	44	47.7	15.9	11.4	22.7	2.3
	その他	9	66.7	22.2	11.1	0.0	0.0
居住区別	門司区	33	45.5	15.2	24.2	15.2	0.0
	小倉北区	40	40.0	22.5	22.5	12.5	2.5
	小倉南区	61	32.8	21.3	24.6	21.3	0.0
	若松区	20	15.0	20.0	35.0	25.0	5.0
	八幡東区	16	25.0	12.5	37.5	25.0	0.0
	八幡西区	55	29.1	29.1	18.2	21.8	1.8
	戸畑区	12	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0
同居家族別	1人暮らし	29	41.4	20.7	24.1	10.3	3.4
	夫婦のみ	66	34.8	22.7	21.2	21.2	0.0
	親子(2世代)	113	31.9	22.1	23.9	22.1	0.0
	親・子・孫(3世代)	20	20.0	30.0	30.0	10.0	10.0
	その他	8	25.0	12.5	37.5	25.0	0.0

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

市内の公共施設の安心、快適な利用に対する満足感

【全体的傾向】

市内の公共施設の安心、快適な利用に対する市民の満足感は、「とても感じている」は 8.2%、「ある程度感じている」は 50.2%、合計すると、肯定層は 58.4%である。一方、「あまり感じていない」は 15.7%、「ほとんど感じていない」は 2.3%、合計すると、否定層は 18.0%である。

肯定層（58.4%）が否定層（18.0%）を 40.2 ポイント上回っている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢別にみると、肯定層は 70 歳以上で 64.5%と特に高くなっている。
- 居住区別にみると、肯定層は、全ての区で 5 割を上回っている。

【経年比較】

今年度の調査結果を、平成 21 年度及び 24 年度調査結果と比較したところ、肯定層は、平成 21 年度 48.8%→平成 24 年度 50.8%→今年度 58.4%と、毎回高くなっている。逆に否定層は、平成 21 年度 21.5%→平成 24 年度 21.3%→今年度 18.0%と、少しずつではあるが毎回低くなっている。

公共施設が、安心して、快適に利用できると感じられない理由

【全体的傾向】

公共施設が、安心して、快適に利用できると感じられない主な理由は、「破損やごみの散乱などが見られ、維持管理が行き届いていない」（32.9%）が最も高く、次いで「危険な箇所・場所がある（急な階段、公園・建物の暗がりなど）」（24.1%）、「工事等が多く利用しづらいことがある」（22.4%）の順となっている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢別にみると、「破損やごみの散乱などが見られ、維持管理が行き届いていない」は 70 歳以上で 42.2%と特に高く、「工事等が多く利用しづらいことがある」は 30 歳代で 34.8%と特に高くなっている。
- 居住区別にみると、「危険な箇所・場所がある（急な階段、公園・建物の暗がりなど）」が八幡東区で 37.5%、若松区で 35.0%と高くなっている。

【自由記入欄の回答状況】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 小倉中心地の公園は充実しているが、その他は？
- ・ 市営住宅の老朽化。
- ・ アスファルト道路の穴を補修し、雑草が生えないようにしてほしい。歩きづらい。

(9) 文化やスポーツについて

① 文化芸術に親しめるまちであることに対する満足感

問 11 北九州市では、音楽、演劇、文学、映画に関するイベントの開催などにより、文化芸術を盛んにする取組みを進めています。そこで、おたずねします。
あなたは、北九州市は、文化芸術に親しむ（見る、参加する）機会に恵まれているまちだと感じますか。

N : 1,322 人

項目	回答数（人）	割合（%）
1 とても感じている	119	9.0
2 ある程度感じている	503	38.0
3 どちらとも言えない	334	25.3
4 あまり感じていない	265	20.0
5 ほとんど感じていない	47	3.6
無回答	54	4.1

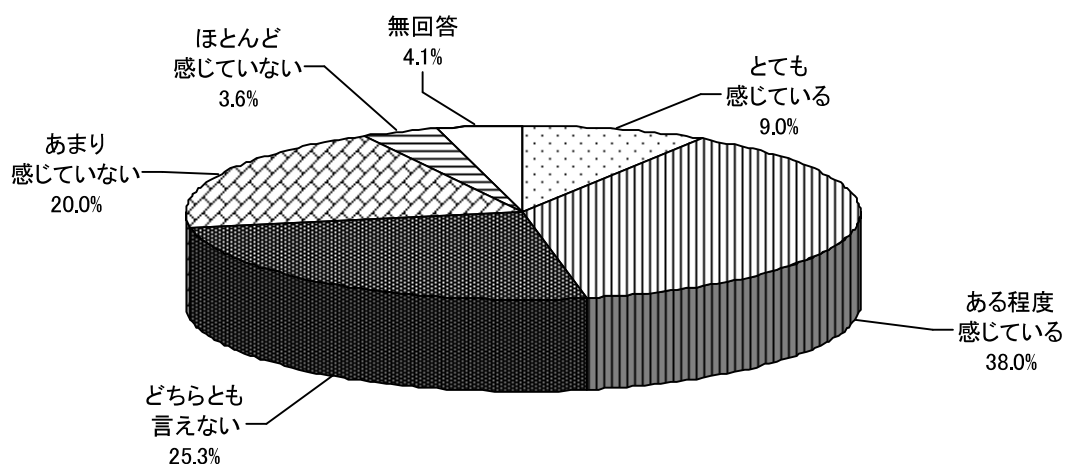
◇ 文化芸術に親しめるまちであることに対する、市民の満足感は、

・肯定層 47.0%

（「とても感じている」9.0%＋「ある程度感じている」38.0%）

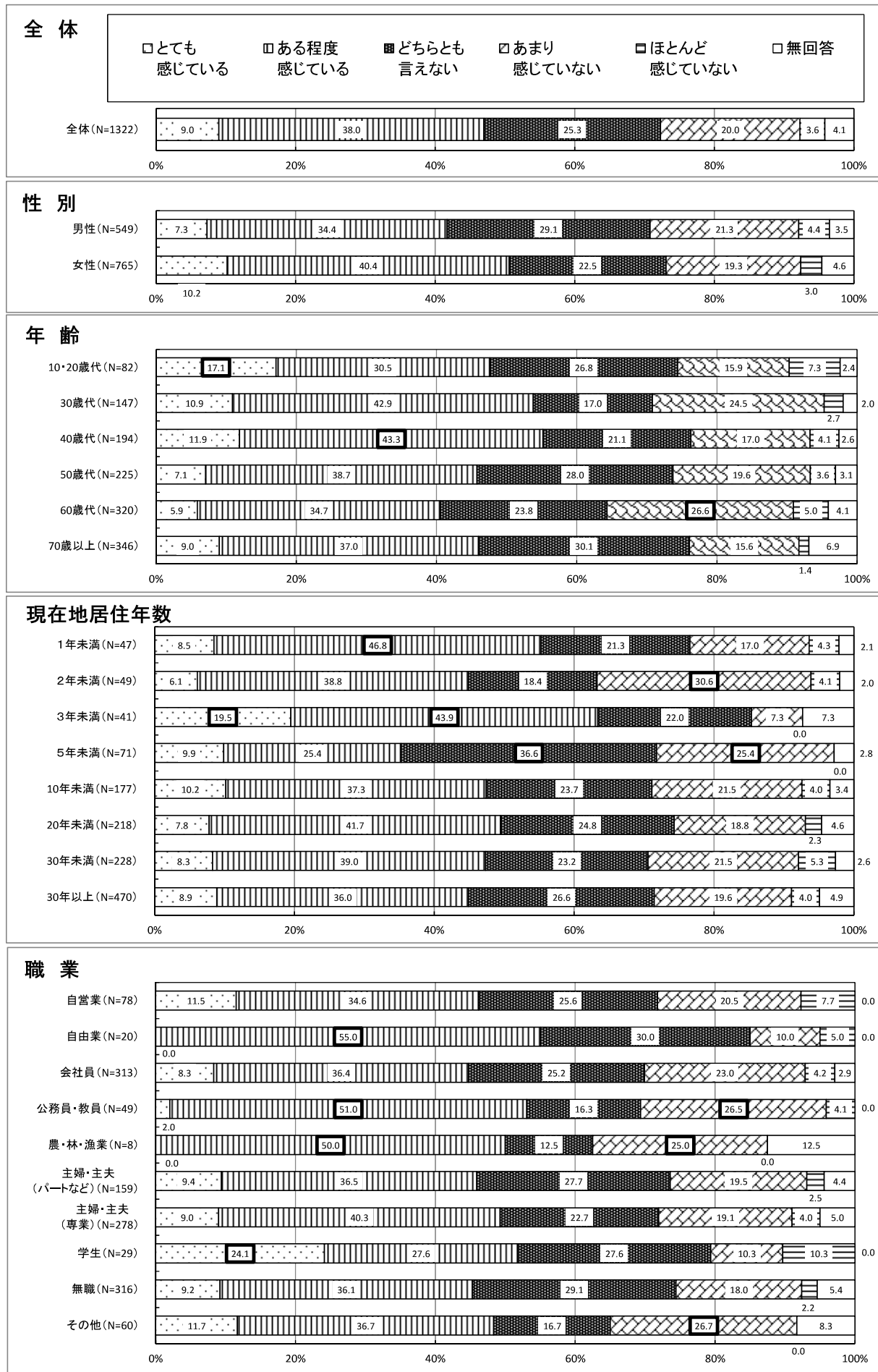
・否定層 23.6%

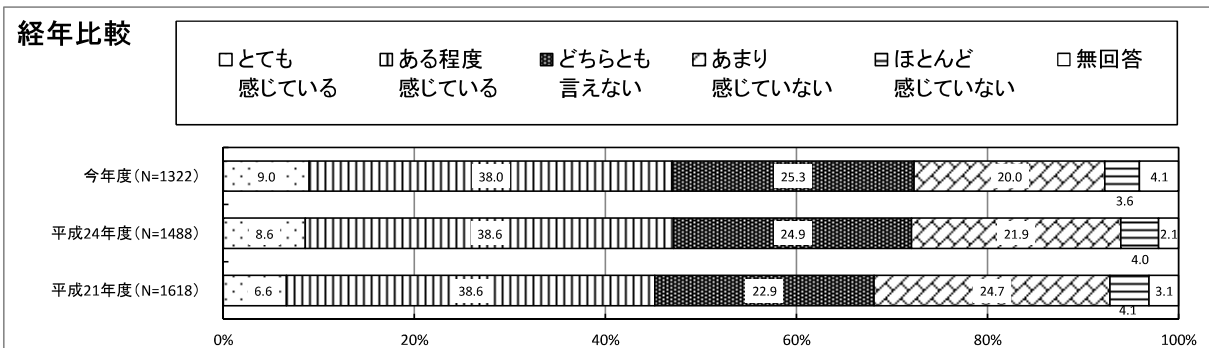
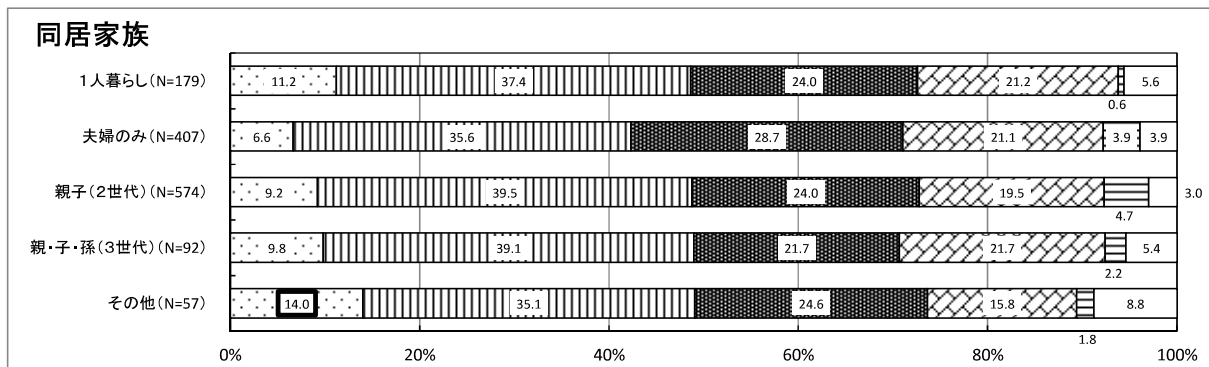
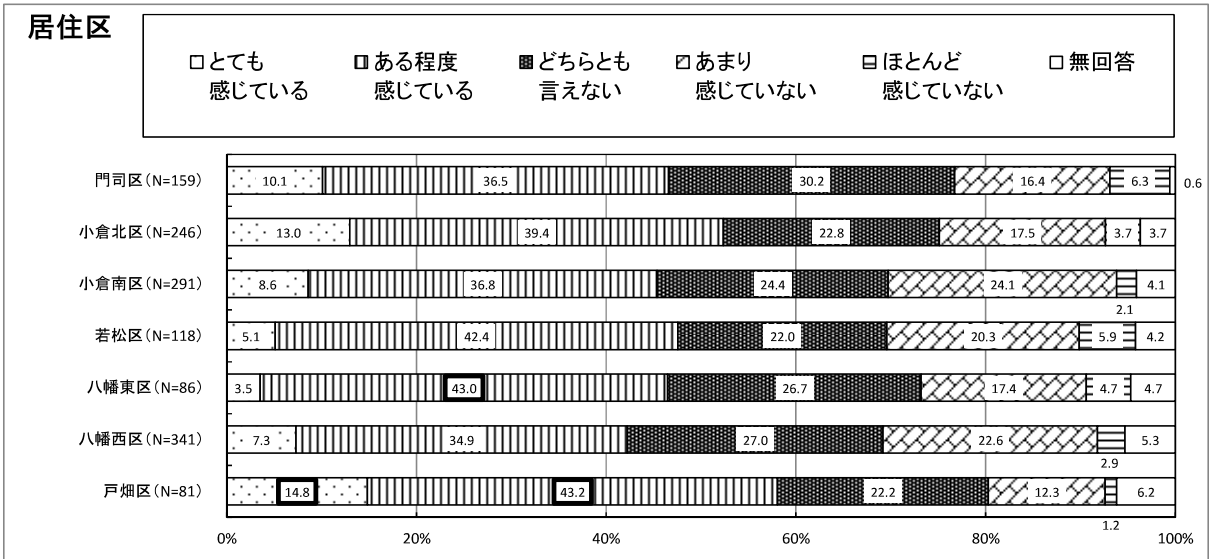
（「あまり感じていない」20.0%＋「ほとんど感じていない」3.6%）



とても感じている
 ある程度感じている
 どちらとも言えない
 あまり感じていない
 ほとんど感じていない
 無回答

① 文化芸術に親しめるまちであることに対する満足感





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

② 文化芸術に親しめるまちだと感じられない理由

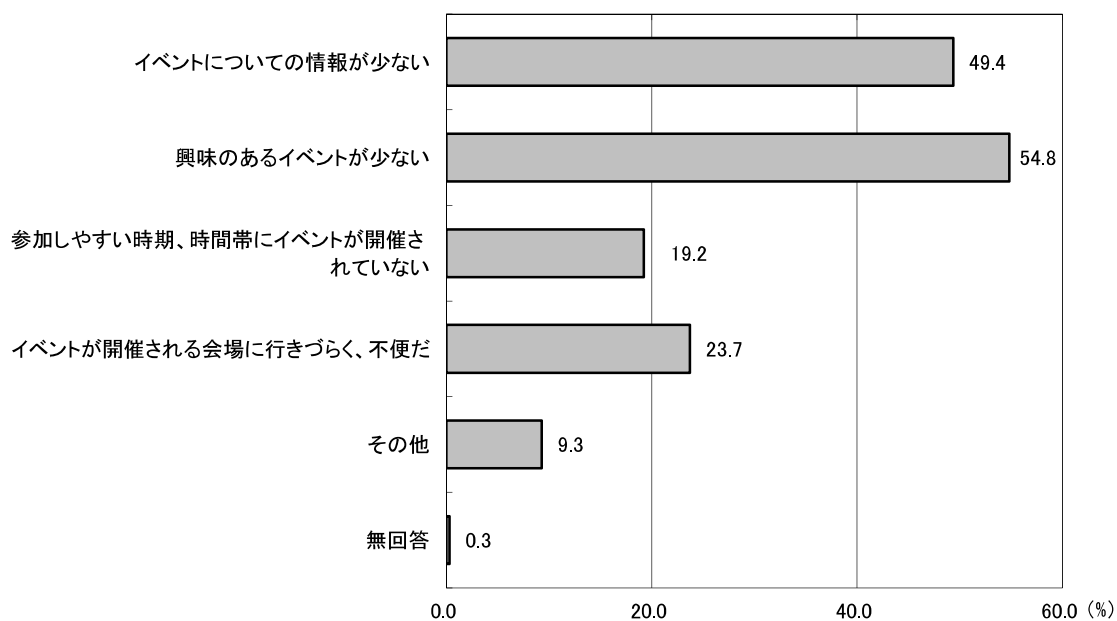
副問 11-1 (4もしくは5と選んだ)理由について、下記から主なものを2つまで選んで下さい。

N : 312 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 イベントについての情報が少ない	154	49.4
2 興味のあるイベントが少ない	171	54.8
3 参加しやすい時期、時間帯にイベントが開催されていない	60	19.2
4 イベントが開催される会場に行きづらく、不便だ	74	23.7
5 その他	229	9.3
無回答	1	0.3

◇ 文化芸術に親しめるまちだと感じられない主な理由は、

- 1位 「興味のあるイベントが少ない」(54.8%)
- 2位 「イベントについての情報が少ない」(49.4%)
- 3位 「イベントが開催される会場に行きづらく、不便だ」(23.7%)



② 文化芸術に親しめるまちだと感じられない理由

		サンプル数	イベントについての情報が少ない	興味のあるイベントが少ない	参加しやすい時期、時間帯にイベントが開催されていない	く、イベントが開催される会場に行きづらく、不便だ	その他	無回答
全体		312	49.4	54.8	19.2	23.7	9.3	0.3
性別	男性	141	51.8	53.2	19.1	22.0	11.3	0.0
	女性	171	47.4	56.1	19.3	25.1	7.6	0.6
年齢別	10・20歳代	19	36.8	52.6	10.5	10.5	10.5	5.3
	30歳代	40	60.0	55.0	20.0	17.5	7.5	0.0
	40歳代	41	51.2	53.7	22.0	14.6	7.3	0.0
	50歳代	52	55.8	59.6	23.1	21.2	11.5	0.0
	60歳代	101	51.5	55.4	21.8	24.8	6.9	0.0
	70歳以上	59	35.6	50.8	11.9	39.0	13.6	0.0
現在地居住年数別	1年未満	10	60.0	30.0	20.0	10.0	10.0	10.0
	2年未満	17	47.1	64.7	29.4	17.6	0.0	0.0
	3年未満	3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	5年未満	18	44.4	50.0	33.3	22.2	5.6	0.0
	10年未満	45	53.3	55.6	17.8	8.9	8.9	0.0
	20年未満	46	50.0	63.0	13.0	23.9	4.3	0.0
	30年未満	61	55.7	54.1	18.0	23.0	13.1	0.0
	30年以上	111	43.2	53.2	18.9	33.3	11.7	0.0
職業別	自営業	22	54.5	50.0	18.2	18.2	22.7	0.0
	自由業	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	会社員	85	52.9	58.8	21.2	21.2	8.2	1.2
	公務員・教員	15	53.3	66.7	13.3	6.7	0.0	0.0
	農・林・漁業	2	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	35	45.7	48.6	31.4	31.4	2.9	0.0
	主婦・主夫(専業)	64	50.0	60.9	12.5	20.3	7.8	0.0
	学生	6	50.0	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0
	無職	64	40.6	46.9	14.1	39.1	14.1	0.0
	その他	16	62.5	68.8	31.3	6.3	6.3	0.0
居住区別	門司区	36	52.8	58.3	16.7	22.2	8.3	0.0
	小倉北区	52	46.2	65.4	13.5	15.4	5.8	1.9
	小倉南区	76	51.3	51.3	17.1	15.8	9.2	0.0
	若松区	31	38.7	54.8	16.1	38.7	9.7	0.0
	八幡東区	19	57.9	63.2	10.5	21.1	10.5	0.0
	八幡西区	87	50.6	46.0	26.4	32.2	11.5	0.0
	戸畑区	11	45.5	72.7	36.4	18.2	9.1	0.0
同居家族別	1人暮らし	39	61.5	53.8	20.5	28.2	5.1	2.6
	夫婦のみ	102	48.0	52.9	19.6	28.4	9.8	0.0
	親子(2世代)	139	45.3	56.8	18.7	19.4	10.8	0.0
	親・子・孫(3世代)	22	45.5	59.1	18.2	22.7	4.5	0.0
	その他	10	80.0	40.0	20.0	20.0	10.0	0.0

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

文化芸術に親しめるまちであることに対する満足感

【全体的傾向】

文化芸術に親しめるまちであることに対する満足感をみると、「とても感じている」は9.0%、「ある程度感じている」は38.0%、合計すると、肯定層は47.0%である。一方、「あまり感じていない」は20.0%、「ほとんど感じていない」は3.6%、合計すると、否定層は23.6%である。肯定層（47.0%）が否定層（23.6%）を23.4ポイント上回っている。

【属性別にみた傾向】

- 居住区別にみると、肯定層は戸畑区（58.0%）、小倉北区（52.4%）で5割を上回っている。

【経年比較】

今年度の調査結果を、平成21年度及び24年度調査結果と比較したところ、肯定層は、平成21年度（45.2%）に対して平成24年度（47.2%）は高くなったが、今年度（47.0%）は横這いであった。否定層は、平成21年度28.8%→平成24年度25.9%→今年度23.6%と、毎回低くなっている。

文化芸術に親しめるまちだと感じられない理由

【全体的傾向】

文化芸術に親しめるまちだと感じられない主な理由は、「興味のあるイベントが少ない」（54.8%）が最も高く、次いで「イベントについての情報が少ない」（49.4%）、「イベントが開催される会場に行きづらく、不便だ」（23.7%）の順となっている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢別にみると、「イベントについての情報が少ない」は、30歳代で60.0%と特に高かった。「イベントが開催される会場に行きづらく、不便だ」は、70歳以上で39.0%と他の年齢層に比べて高くなっている。
- 居住区別にみると、「興味のあるイベントが少ない」は、戸畑区で72.7%と特に高くなっている。

【自由記入欄の回答状況】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 開催場所が限定されている。
- ・ 良いイベントは多いのに、情報発信が上手くないため皆が知らない。
- ・ 福岡市に流れてしまう。

③ スポーツに親しめるまちであることに対する満足感

問 12 北九州市では、北九州スタジアムをはじめ、スポーツ施設の整備やイベントの開催などにより、スポーツを盛んにする取組みを進めています。そこで、おたずねします。

あなたは、北九州市は、スポーツに親しむ（見る、参加する）機会に恵まれているまちだと感じますか。

N : 1,322 人

項目	回答数（人）	割合（％）
1 とても感じている	77	5.8
2 ある程度感じている	446	33.7
3 どちらとも言えない	417	31.5
4 あまり感じていない	266	20.1
5 ほとんど感じていない	54	4.1
無回答	62	4.7

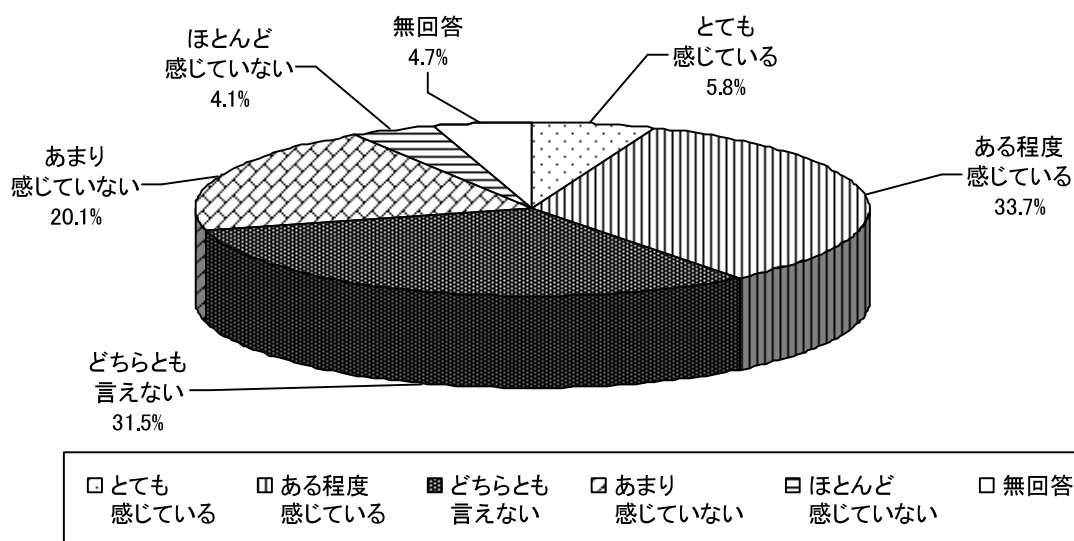
◇ スポーツに親しめるまちであることに対する、市民の満足感は、

・肯定層 39.5%

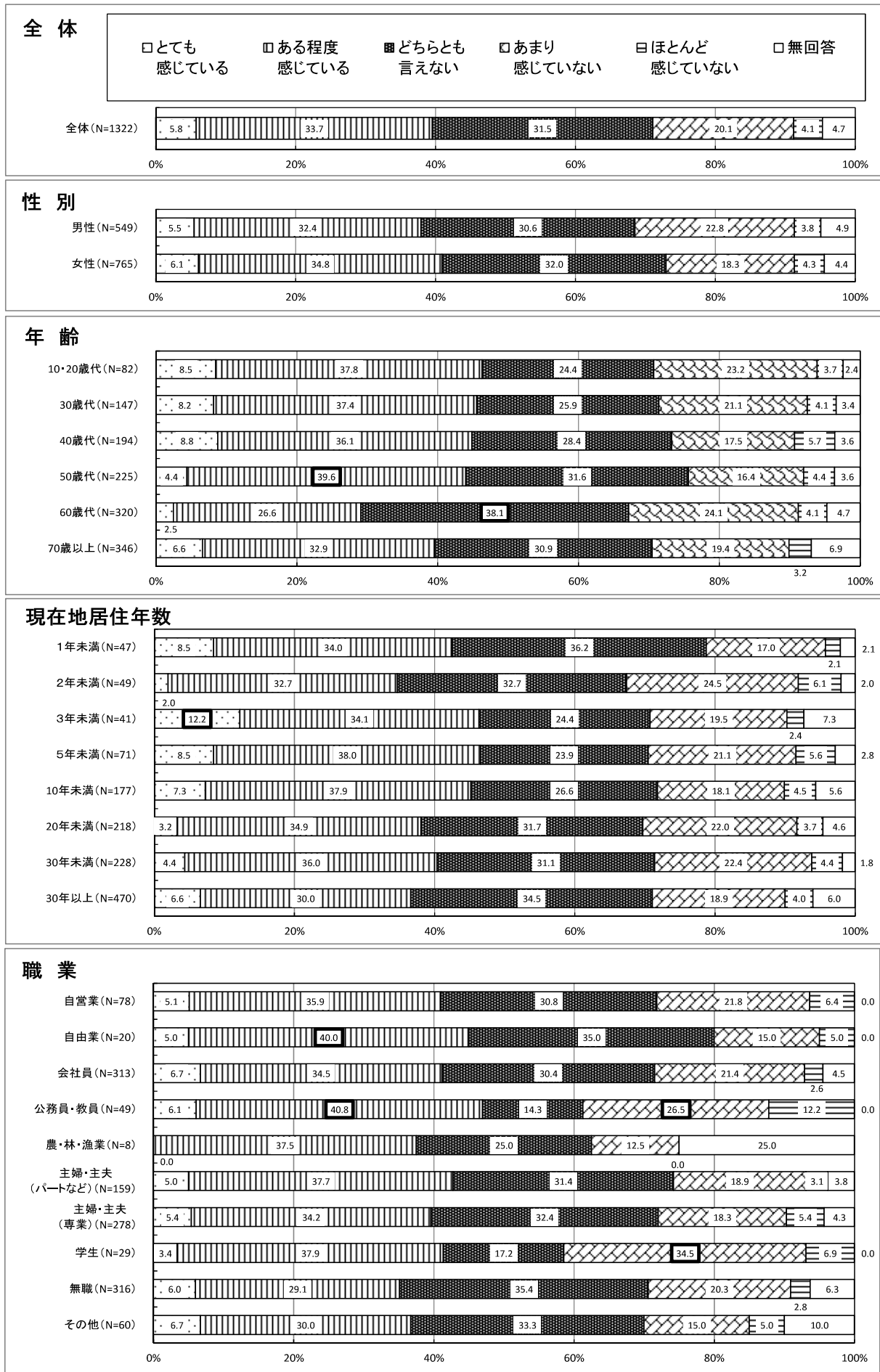
（「とても感じている」5.8%+「ある程度感じている」33.7%）

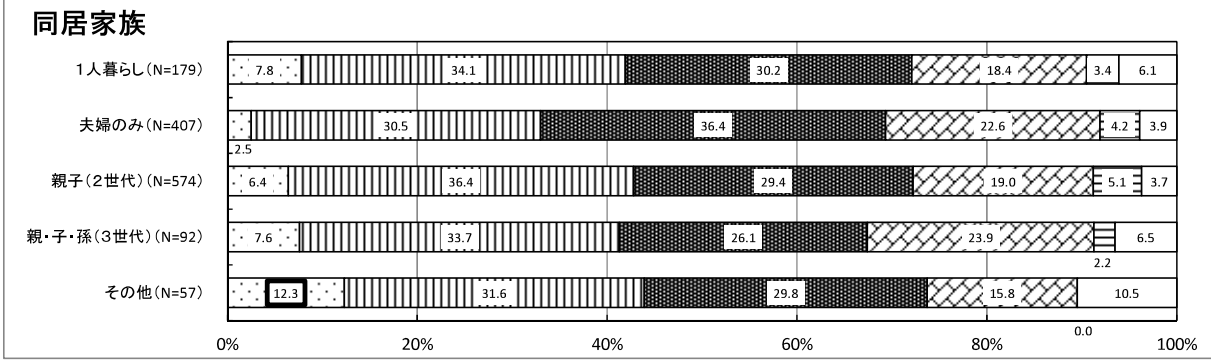
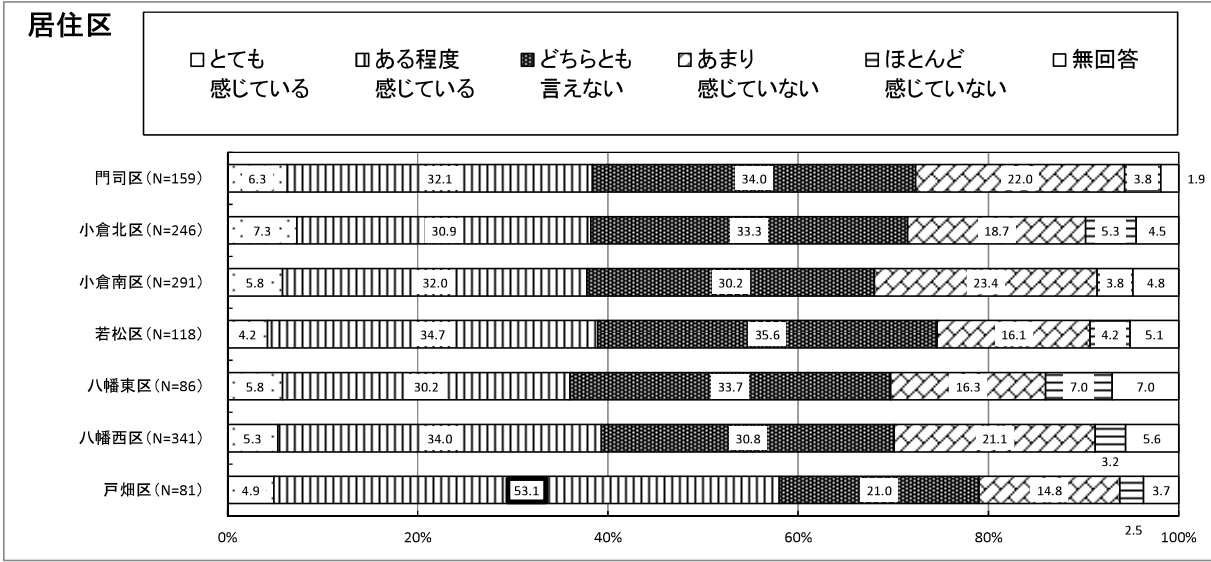
・否定層 24.2%

（「あまり感じていない」20.1%+「ほとんど感じていない」4.1%）



③ スポーツに親しめるまちであることに対する満足感





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

④ スポーツに親しめるまちだと感じられない理由

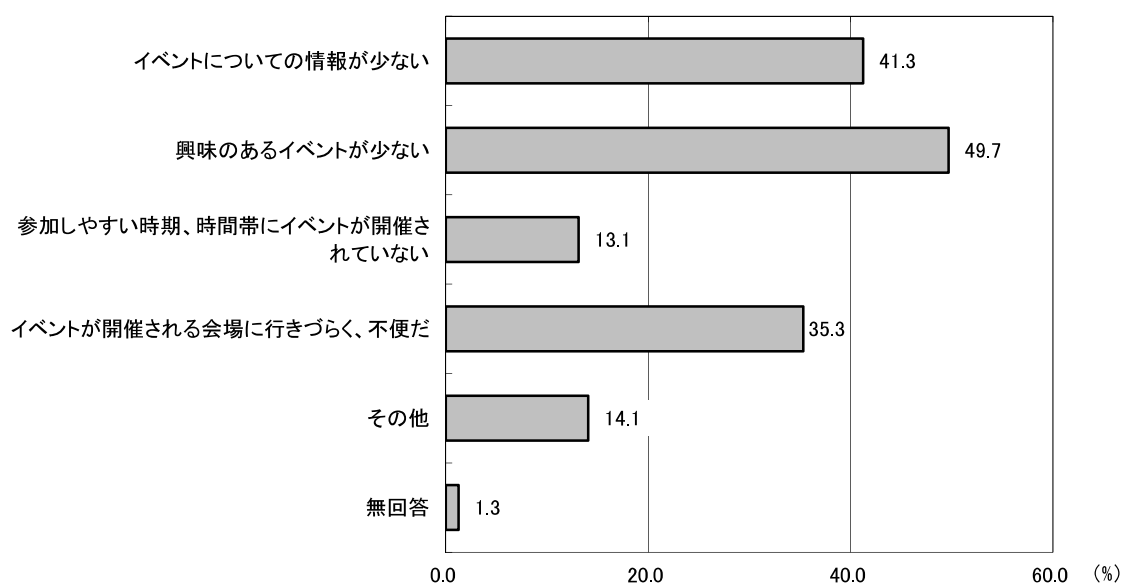
副問 12-1 (4もしくは5と選んだ)理由について、下記から主なものを2つまで選んで下さい。

N : 320人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 イベントについての情報が少ない	132	41.3
2 興味のあるイベントが少ない	159	49.7
3 参加しやすい時期、時間帯にイベントが開催されていない	42	13.1
4 イベントが開催される会場に行きづらく、不便だ	113	35.3
5 その他	45	14.1
無回答	4	1.3

◇ スポーツに親しめるまちだと感じられない主な理由は、

- 1位 「興味のあるイベントが少ない」(49.7%)
- 2位 「イベントについての情報が少ない」(41.3%)
- 3位 「イベントが開催される会場に行きづらく、不便だ」(35.3%)



④ スポーツに親しめるまちだと感じられない理由

		サンプル数	イベントについての情報が少ない	興味のあるイベントが少ない	参加しやすい時期、時間帯にイベントが開催されていない	イベントが開催される会場に行きづらく、不便だ	その他	無回答
全体		320	41.3	49.7	13.1	35.3	14.1	1.3
性別	男性	146	42.5	52.1	11.0	32.2	12.3	2.7
	女性	173	40.5	48.0	15.0	37.6	15.6	0.0
年齢別	10・20歳代	22	59.1	59.1	22.7	13.6	13.6	0.0
	30歳代	37	51.4	56.8	10.8	18.9	8.1	0.0
	40歳代	45	31.1	42.2	24.4	31.1	20.0	4.4
	50歳代	47	55.3	70.2	8.5	14.9	8.5	0.0
	60歳代	90	44.4	45.6	15.6	50.0	12.2	1.1
	70歳以上	78	25.6	41.0	5.1	46.2	19.2	1.3
現在地居住年数別	1年未満	9	55.6	77.8	22.2	11.1	0.0	0.0
	2年未満	15	40.0	66.7	26.7	20.0	6.7	0.0
	3年未満	9	22.2	55.6	22.2	44.4	0.0	0.0
	5年未満	19	42.1	42.1	15.8	15.8	10.5	5.3
	10年未満	40	52.5	47.5	10.0	27.5	17.5	0.0
	20年未満	56	33.9	55.4	16.1	33.9	12.5	1.8
	30年未満	61	47.5	57.4	6.6	41.0	11.5	1.6
	30年以上	108	37.0	39.8	13.0	42.6	19.4	0.9
職業別	自営業	22	54.5	50.0	9.1	27.3	13.6	0.0
	自由業	4	50.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0
	会社員	75	41.3	52.0	22.7	30.7	8.0	1.3
	公務員・教員	19	42.1	78.9	10.5	5.3	0.0	10.5
	農・林・漁業	1	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	35	37.1	51.4	11.4	45.7	20.0	0.0
	主婦・主夫(専業)	66	37.9	39.4	7.6	48.5	16.7	0.0
	学生	12	83.3	50.0	16.7	25.0	0.0	0.0
	無職	73	35.6	49.3	9.6	38.4	15.1	1.4
その他	12	41.7	41.7	16.7	16.7	50.0	0.0	
居住区別	門司区	41	43.9	61.0	14.6	34.1	9.8	0.0
	小倉北区	59	47.5	54.2	11.9	25.4	13.6	0.0
	小倉南区	79	40.5	46.8	8.9	29.1	20.3	2.5
	若松区	24	16.7	45.8	16.7	50.0	16.7	4.2
	八幡東区	20	35.0	45.0	5.0	40.0	15.0	0.0
	八幡西区	83	43.4	44.6	15.7	43.4	12.0	1.2
	戸畑区	14	50.0	57.1	28.6	35.7	0.0	0.0
同居家族別	1人暮らし	39	53.8	59.0	12.8	30.8	10.3	2.6
	夫婦のみ	109	38.5	45.0	9.2	48.6	12.8	1.8
	親子(2世代)	138	40.6	48.6	14.5	26.1	18.1	0.7
	親・子・孫(3世代)	24	33.3	62.5	16.7	37.5	8.3	0.0
	その他	9	55.6	55.6	33.3	22.2	0.0	0.0

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

スポーツに親しめるまちであることに対する満足感

【全体的傾向】

スポーツに親しむ（見る、参加する）機会に恵まれているまちだと感じているかどうかをみると、「とても感じている」は5.8%、「ある程度感じている」は33.7%、合計すると、肯定層は39.5%である。一方、「あまり感じていない」は20.1%、「ほとんど感じていない」は4.1%、合計すると、否定層は24.2%である。

肯定層（39.5%）が否定層（24.2%）を15.3ポイント上回っている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢層別にみると、肯定層は10・20歳代（46.3%）で最も高く、次いで30歳代（45.6%）、40歳代（44.9%）の順になっており、概ね若い年齢層で高くなっている。
- 居住区別にみると、肯定層は戸畑区で58.0%と特に高く、それ以外の6区は全て3割台となっているのが目立つ。

スポーツに親しめるまちだと感じられない理由

【全体的傾向】

スポーツに親しむ（見る、参加する）機会に恵まれているまちだと感じられない主な理由は、「興味のあるイベントが少ない」（49.7%）が最も高く、次いで「イベントについての情報が少ない」（41.3%）、「イベントが開催される会場に行きづらく、不便だ」（35.3%）の順となっている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢別にみると、「興味のあるイベントが少ない」は50歳代で70.2%と、特に高くなっている。また、「イベントが開催される会場に行きづらく、不便だ」は60歳代で50.0%、70歳以上で46.2%と、年齢が高い層で特に高くなっている。
- 居住区別にみると、「興味のあるイベントが少ない」は門司区で61.0%と特に高く、「イベントが開催される会場に行きづらく、不便だ」は若松区で50.0%と特に高くなっている。

【自由記入欄の回答状況】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 一部のスポーツに多額の市費を投入している様だが、もう少し広い目で市民の参加出来る施設作りやイベントを考えてほしい。
- ・ イベントがない。
- ・ 駐車場などなく不便。

(10) 自治会やNPOなどの市民活動について

① 市民活動に参加しやすい環境にあることへの満足感

問 13 北九州市では、自治会や町内会の支えあい活動の支援や NPO・ボランティア活動の促進に取り組んでいます。そこで、おたずねします。

あなたは、北九州市は自治会や町内会、NPO・ボランティアなどの市民活動に参加しやすい環境（地域の雰囲気、NPO・ボランティアなどに関する情報の提供など）が整ったまちだと感じますか。

N : 1,322 人

項目	回答数（人）	割合（％）
1 とても感じている	62	4.7
2 ある程度感じている	396	30.0
3 どちらとも言えない	433	32.8
4 あまり感じていない	305	23.1
5 ほとんど感じていない	77	5.8
無回答	49	3.7

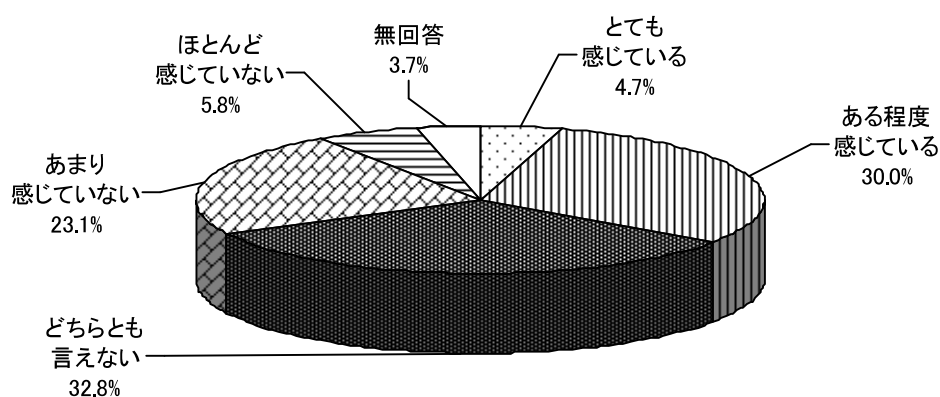
◇ 市民活動に参加しやすい環境にあることへの、市民の満足感は、

・ 肯定層 34.7%

（「とても感じている」4.7%+「ある程度感じている」30.0%）

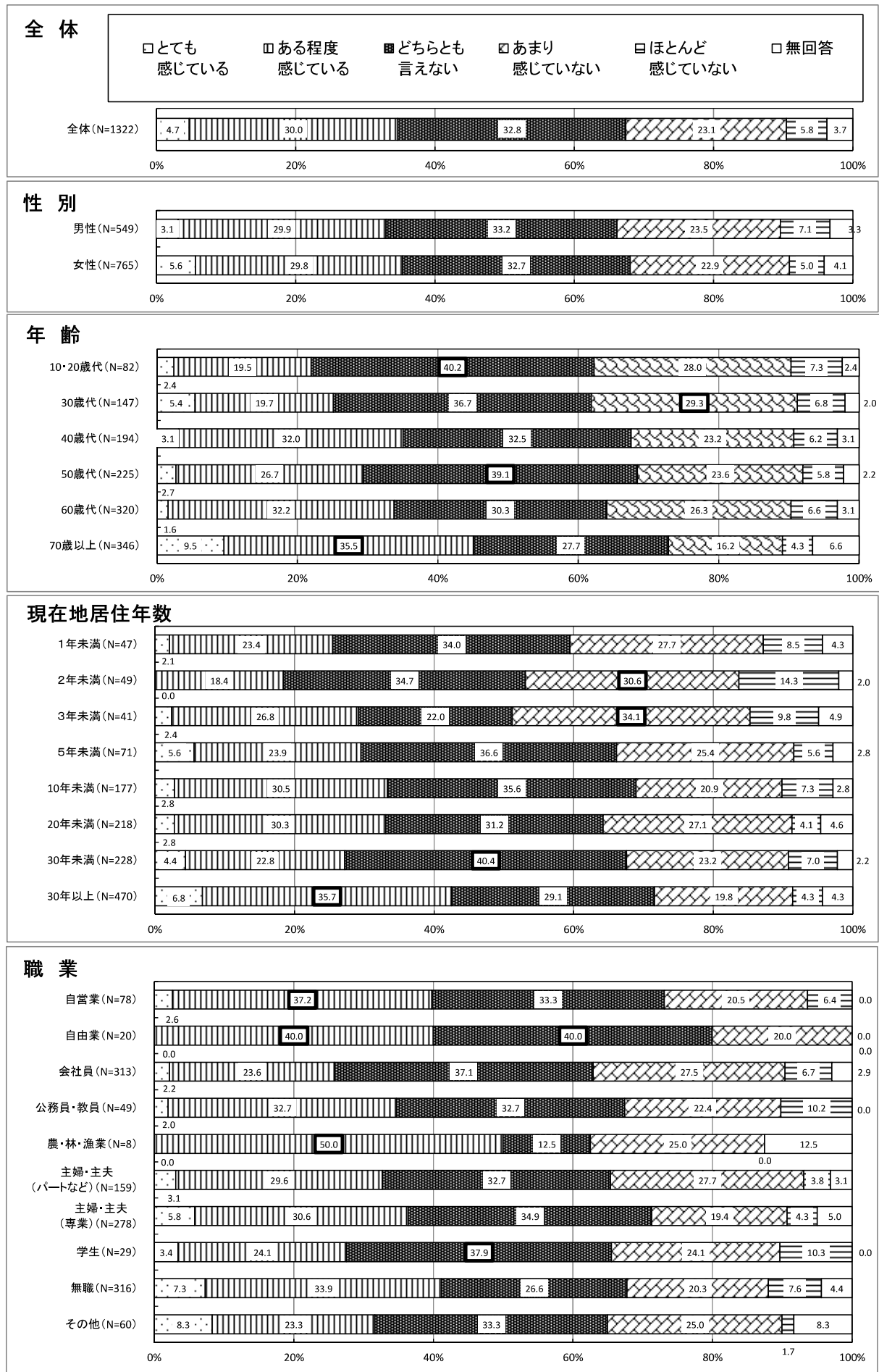
・ 否定層 28.9%

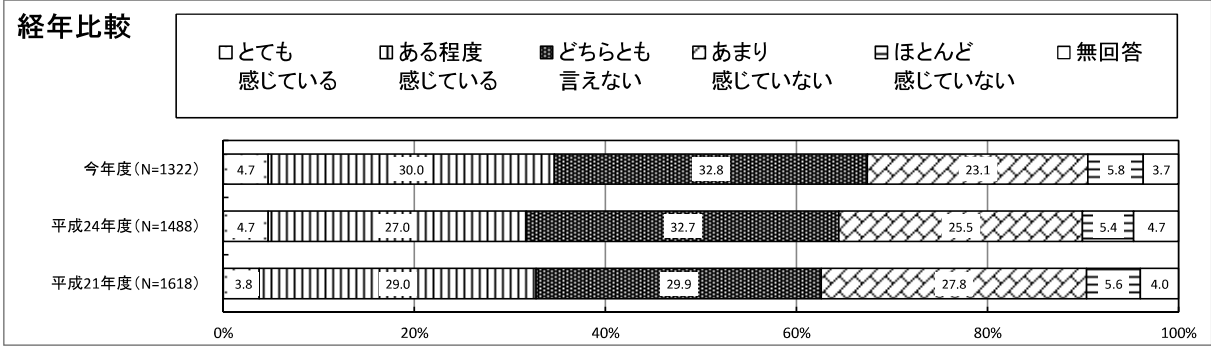
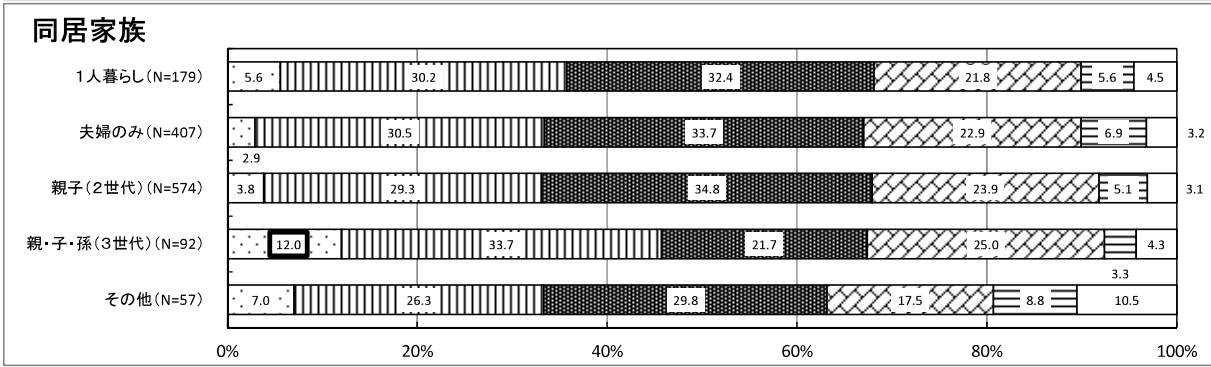
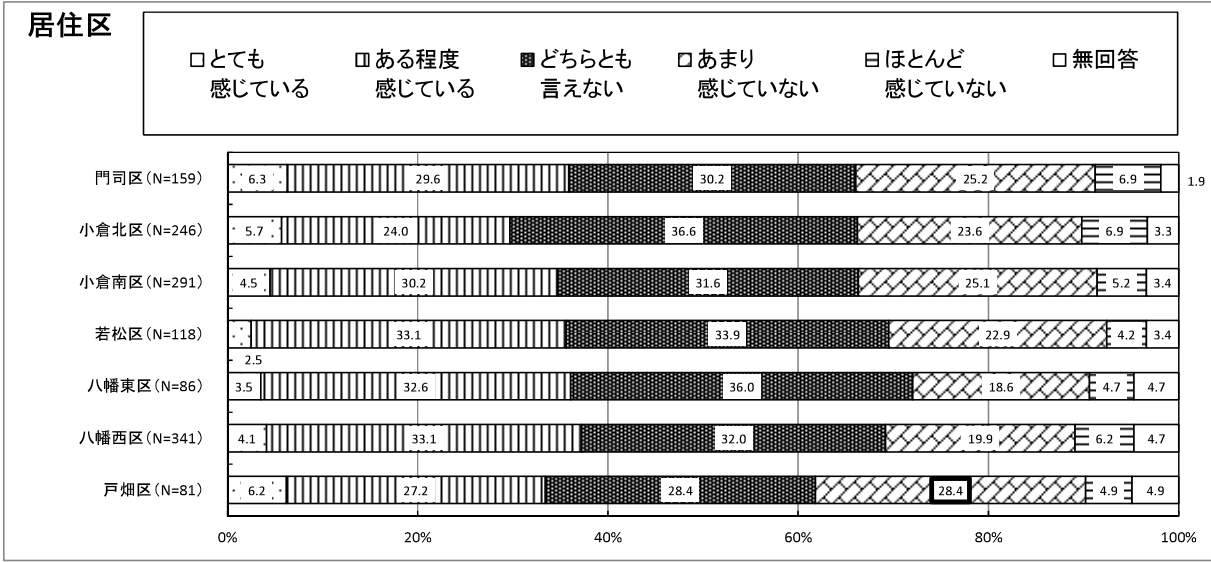
（「あまり感じていない」23.1%+「ほとんど感じていない」5.8%）



□ とても感じている	□ ある程度感じている	■ どちらとも言えない	▨ あまり感じていない	▩ ほとんど感じていない	□ 無回答
------------	-------------	-------------	-------------	--------------	-------

① 市民活動に参加しやすい環境にあることへの満足感





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

② 市民活動への参加のしやすさが感じられない理由

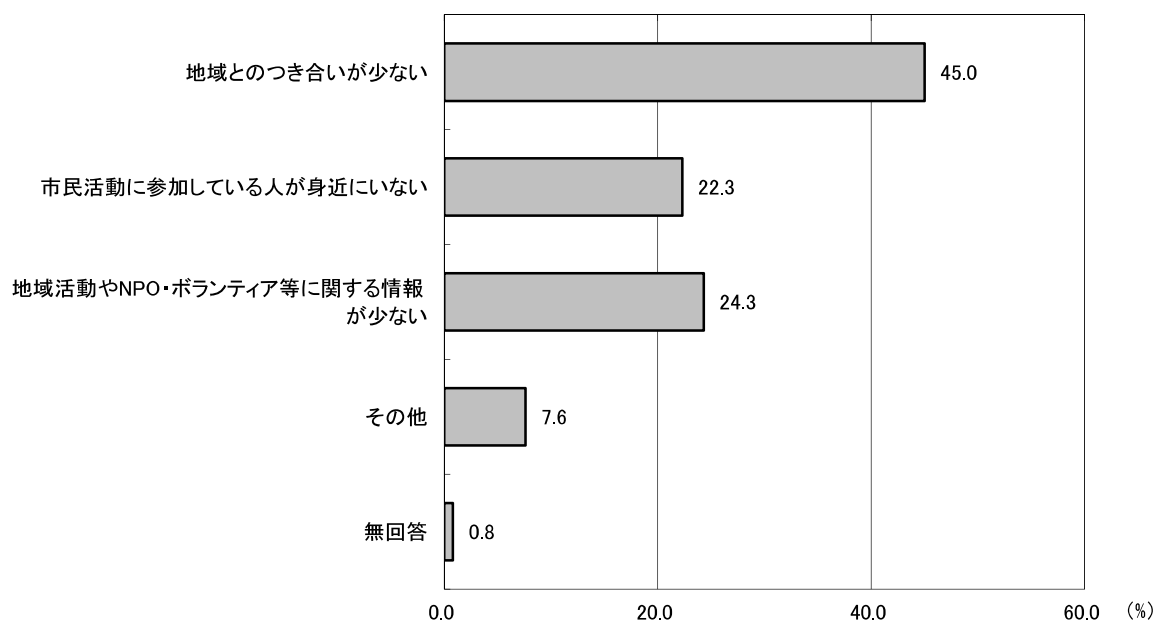
副問 13-1 (4もしくは5と選んだ)理由について、下記から主なものを1つまで選んで下さい。

N : 382人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 地域とのつき合いが少ない	172	45.0
2 市民活動に参加している人が身近にいない	85	22.3
3 地域活動やNPO・ボランティア等に関する情報が少ない	93	24.3
4 その他	29	7.6
無回答	3	0.8

◇ 市民活動への参加のしやすさが感じられない主な理由は、

- 1位 「地域とのつき合いが少ない」(45.0%)
- 2位 「地域活動やNPO・ボランティア等に関する情報が少ない」(24.3%)
- 3位 「市民活動に参加している人が身近にいない」(22.3%)



② 市民活動への参加のしやすさが感じられない理由

		サンプル数	地域とのつき合いが少ない	市民活動に参加している人が身近にいない	地域活動やNPO・ボランティア等に関する情報が少ない	その他	無回答
全体		382	45.0	22.3	24.3	7.6	0.8
性別	男性	168	42.3	17.9	28.6	10.1	1.2
	女性	213	46.9	25.8	21.1	5.6	0.5
年齢別	10・20歳代	29	44.8	24.1	27.6	3.4	0.0
	30歳代	53	62.3	20.8	13.2	3.8	0.0
	40歳代	57	47.4	28.1	19.3	5.3	0.0
	50歳代	66	43.9	22.7	22.7	9.1	1.5
	60歳代	105	45.7	17.1	27.6	8.6	1.0
	70歳以上	71	29.6	25.4	32.4	11.3	1.4
現在地居住年数別	1年未満	17	41.2	23.5	29.4	5.9	0.0
	2年未満	22	63.6	9.1	22.7	4.5	0.0
	3年未満	18	55.6	22.2	22.2	0.0	0.0
	5年未満	22	31.8	27.3	31.8	9.1	0.0
	10年未満	50	52.0	28.0	14.0	6.0	0.0
	20年未満	68	41.2	27.9	22.1	7.4	1.5
	30年未満	69	49.3	18.8	24.6	7.2	0.0
	30年以上	113	38.9	20.4	28.3	10.6	1.8
職業別	自営業	21	47.6	14.3	23.8	14.3	0.0
	自由業	4	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0
	会社員	107	45.8	18.7	25.2	8.4	1.9
	公務員・教員	16	43.8	12.5	31.3	12.5	0.0
	農・林・漁業	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	50	54.0	24.0	16.0	6.0	0.0
	主婦・主夫(専業)	66	37.9	36.4	19.7	6.1	0.0
	学生	10	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	無職	88	40.9	18.2	33.0	6.8	1.1
その他	16	62.5	25.0	6.3	6.3	0.0	
居住区別	門司区	51	45.1	19.6	27.5	7.8	0.0
	小倉北区	75	46.7	18.7	29.3	5.3	0.0
	小倉南区	88	35.2	26.1	27.3	9.1	2.3
	若松区	32	53.1	15.6	21.9	6.3	3.1
	八幡東区	20	45.0	25.0	25.0	5.0	0.0
	八幡西区	89	52.8	21.3	15.7	10.1	0.0
	戸畑区	27	37.0	33.3	25.9	3.7	0.0
同居家族別	1人暮らし	49	40.8	24.5	26.5	6.1	2.0
	夫婦のみ	121	47.1	15.7	28.9	6.6	1.7
	親子(2世代)	166	45.8	26.5	20.5	7.2	0.0
	親・子・孫(3世代)	26	30.8	23.1	30.8	15.4	0.0
	その他	15	60.0	20.0	13.3	6.7	0.0

(注) 太字 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

市民活動に参加しやすい環境にあることへの満足感

【全体的傾向】

町内会や NPO、ボランティアなどの市民活動に参加しやすい環境にあることへの、市民の満足感をみると、「とても感じている」は4.7%、「ある程度感じている」は30.0%、合計すると、肯定層は34.7%である。一方、「あまり感じていない」は23.1%、「ほとんど感じていない」は5.8%、合計すると、否定層は28.9%である。

肯定層（34.7%）が否定層（28.9%）を5.8ポイント上回っている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢別にみると、概ね、肯定層は年齢が高い層で高く、70歳以上で45.0%と特に高くなっている。
- 居住区別にみると、肯定層は八幡西区（37.2%）で最も高く、小倉北区（29.7%）で最も低い。
- 同居家族別にみると、肯定層は親・子・孫（3世代）で45.7%と特に高くなっている。

【経年比較】

今年度の調査結果を、平成21年度及び24年度調査結果と比較したところ、肯定層は、平成21年度（32.8%）に対し平成24年度（31.7%）はわずかながら低くなったが、今年度（34.7%）は高くなった。逆に否定層は、平成21年度33.4%→平成24年度30.9%→今年度28.9%と、毎回低くなっている。

市民活動への参加のしやすさが感じられない理由

【全体的傾向】

町内会や NPO、ボランティアなどの市民活動に参加しやすい環境が整ったままだと感じられない主な理由は、「地域とのつき合いが少ない」（45.0%）が最も高く、次いで「地域活動や NPO・ボランティア等に関する情報が少ない」（24.3%）、「市民活動に参加している人が身近にいない」（22.3%）の順となっている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢層別では、「地域とのつき合いが少ない」は、30歳代で62.3%と特に高くなっている。
- 居住区別では、「地域とのつき合いが少ない」は、若松区（53.1%）及び八幡西区（52.8%）で比較的高く、5割を上回っている。

【自由記入欄の回答状況】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 時間がない。
- ・ 町内会への加入が少ない。
- ・ 高齢者がいつまでも役員を続け活性化（代わり映え）しない。